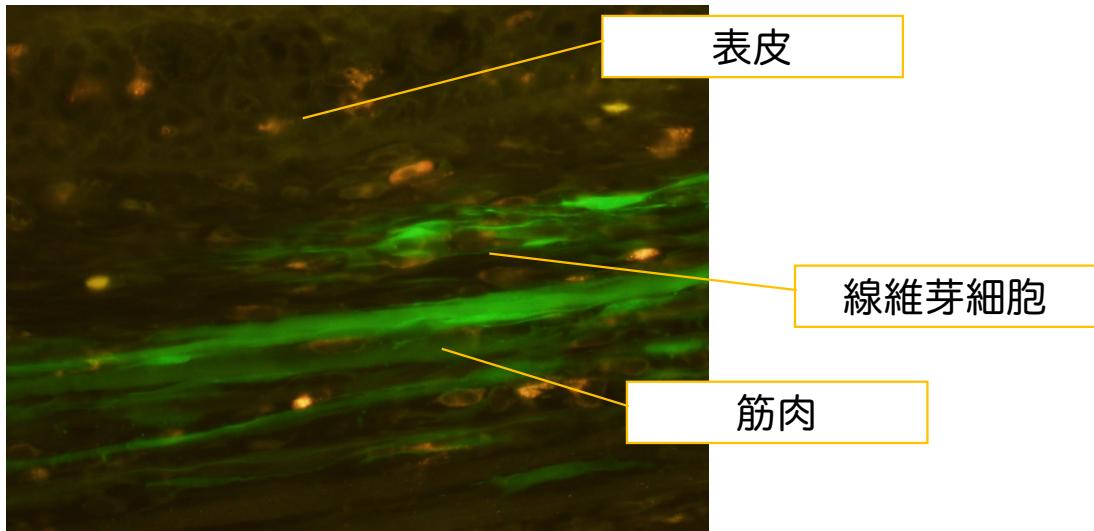


A

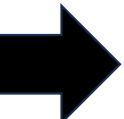
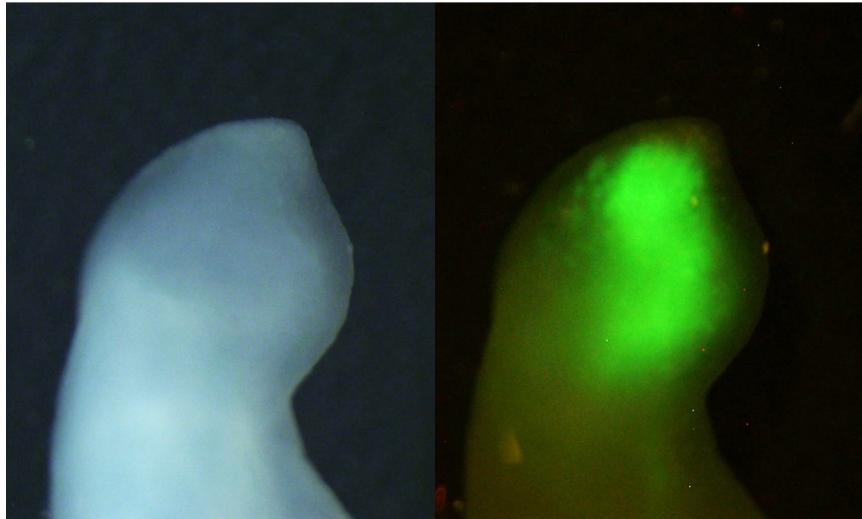


SeVのアホロートル（両生類）への感染例

(A) SeV-mEmeraldをアホロートルの四肢に感染し、3日後にmEmeraldの緑色蛍光が発現していることを観察した。

(B、C)アホロートルの手首を切断後に形成された再生芽にSHHとGFPを発現するSeV-SHHを2日おきに3回感染し、過剰指が誘導された。(B)3回目の感染から5日目。(C)3回目の感染から30日目。

B



C



SeV-SHHによって誘導された過剰指

岡山大学 佐藤伸教授 ご提供